

# 令和4年度

## 各教科の評価について

### 1 学年 / 1 学期

この冊子には、各教科の『観点別学習状況の評価(A・B・C)』の評価対象や方法等についてまとめてあります。

★各観点の目標に対して

○十分満足できると判断されるもの → A  
(達成率 80%以上の場合)

○概ね満足できると判断されるもの → B  
(達成率 50%以上)

○努力を要すると判断されるもの → C  
(達成率 50%未満)

★各教科3つの観点別学習状況の評価を総合して、その教科の『評定(5・4・3・2・1)』が決まります。

令和4年4月

港区立高陵中学校

## 評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

## ● 知識・技能

- ・学習した内容をもとに、話し言葉と書き言葉の違いを理解できている。
- ・学習した漢字・語句について、正しく用いることができる。
- ・スピーチで新たに知った言葉を書き留め、適切な用例とともに記入できる。
- ・文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などの要旨を把握できる。
- ・複数の情報の比較や、共通点や類似点に基づいて類別することができる。
- ・引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、自身の文章へと生かすことができる。

## 【評価方法】

行動観察、発言・発表、ノート、ワークシート、作品、作文、定期考査

## ● 思考力・判断力・表現力等

- ・紹介する言葉を決め、目的や場面、相手などを考えて、その言葉に関するエピソードなどの話す材料を整理しながらスピーチの内容を検討することができる。
- ・実際のスピーチで相手の反応を踏まえて問いかけたり、発言を繰り返したり、説明の仕方を変えることができる。
- ・グラフの種類や特徴を理解し、読み取ったことを話し合いで検討することができる。
- ・話題や展開を捉えつつ話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。

## 【評価方法】

行動観察、発言・発表、ノート、ワークシート、作品、作文、定期考査

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・学習をふり返り、詩の特徴や表現に関して自身の考えや思いを広げたり深めようとしている。
- ・言葉を通じて積極的に人と関わったり、言葉が持つ価値に気付こうとするともに適切に使おうとしている。
- ・練習を通して相手に伝わるような表現の工夫を考え、スピーチに間に合うように紹介物を紹介しようとしている。
- ・習得した知識・技能を活用して、自身の文章における課題を見出し、課題を解決しようとしている。

## 【評価方法】

ノート、振り返りシート、文章の加筆修正、定期考査

## 【評価例】

学んだ知識及び技能を活用し、スピーチにおける表現や言葉の選択を振り返りシートの記述を基に評価する場合。

A…「知識及び技能の活用方法について」、「より良いスピーチへとするための言葉の工夫」、「自分自身の紹介内容の改善点」について記述しており、課題を解決する過程において、試行錯誤しながら、考えを深め、解決しようとしている。

B…「どのようなスピーチをしたいか」、「自身の紹介の何が改善点なのか」について記述しており、課題を解決する過程において試行錯誤しようとしている。

**評価の観点** ・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- 【地理】第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿・第2章 日本の姿  
 第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境
- 【歴史】第2章 古代までの日本

**● 知識・技能**

- 【地理】・世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度の仕組みを理解したり、地図帳のさくいんや統計資料を活用したりしている。  
 ・世界の中での日本の位置や、日本の領域と領域をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。  
 ・世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。
- 【歴史】・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。  
 ・日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。  
 ・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。  
 ・仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素を持った文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。
- 【評価方法】 単元テスト、定期考査、授業プリント、ICT利用ワーク、発言発表、行動観察

**● 思考・判断・表現**

- 【地理】・国名や国旗、国境線の特色から、その国の歴史や文化がわかることや、さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。  
 ・世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。  
 ・世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。
- 【歴史】・古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における国家形成、律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。  
 ・古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。
- 【評価方法】 単元テスト、定期考査、授業プリント、ICT利用ワーク、発言発表、行動観察

**● 主体的に学習に取り組む態度**

- 【地理】・地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に迫りようとしている。  
 ・世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に迫り、解決しようとしている。  
 ・世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもち、主体的に迫りようとしている。
- 【歴史】・古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に迫り、解決しようとしている。
- 【評価方法】 行動観察、発言発表、授業プリント、ICT利用ワーク、提出物（宿題等）

**【評価例】** 単元の学習の振り返り時の記述を基に評価する場合（ワークシート）

- A・・・単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述し、さらに妥当性のある根拠をもった具体的な解決策を提案したりするなど、質的な高まりや深まりをもとうとしている。
- B・・・単元の学習を振り返り、学習した内容やそれに関連することの中からこれからも追究していきたいことを挙げるとともに、その意義を簡単に記述しようとしている。

1年1学期

## 数学科の評価について

教科担当

大久保・桑原・和田

## 評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- 0章 算数から数学へ〔整数の性質〕  
 1章 数の世界をひろげよう〔正負の数〕  
 2章 数学のことばを身につけよう〔文字と式〕  
 3章 未知の数の求め方を考えよう〔方程式〕

## ● 知識・技能

- ・素因数分解の一意性を理解し、自然数を素因数分解することができる。
  - ・正の数・負の数を含めた四則計算ができる。
  - ・文字を用いて関係や法則を式に表現し、一次式の計算ができる。
  - ・等式の性質を用いて一元一次方程式を解くことができる。
  - ・整数を、素数の積の形で表現することができる。
  - ・自然数、素数、素因数分解の意味を理解している。
  - ・正負の数、文字を用いること、方程式の必要性和意味を具体的な場面と結び付けて理解している。【
- 評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

## ● 思考・判断・表現

- ・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だし表現することができる。
  - ・正負の数、文字を用いた式、1次方程式を活用して、具体的な事象を考察し表現することができる。【
- 評価方法】

単元テスト、定期考査、行動観察、ワークシート

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・自然数をいくつかの数の積で表すことにより、整数の性質を見だそうとしている。
- ・正負の数、文字と式、方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
- ・問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
- ・数学を活用して、問題解決に向けて積極的に取り組もうとする。
- ・毎時間の授業に積極的に参加している。
- ・分からない問題に対し質問をしたり、話し合いをしたりすることで粘り強く考察し、解決しようとしている。
- ・ワークシートを工夫しながら書いている。
- ・課題などの提出物に粘り強く取り組み、分からない問題は繰り返し解くことで理解を深め、自らの学習を調整しようとしている。

## 【評価方法】

単元テスト、行動観察、ワークシート、振り返りシート

## 【評価例】

1つの問題に対するいくつかの解き方を比較し、自分なりの考察を加えて、残した記述をもとに評価する場合。（ワークシート）

- A・・・複数の解決方法に対して自分なりの考察を加え、より良い方法を理由とともに記述しようとしている。
- B・・・複数の解決方法があることを理解しようとしている。

評価の観点	・今学期の目標・評価対象・評価方法など
-------	---------------------

● 知識・技能
---------

- ・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類のしかたや植物・動物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。
- ・身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、身のまわりの物質とその性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。

## 【評価方法】

小テスト、レポート、パフォーマンステスト、定期考査など

● 思考・判断・表現
------------

- ・生物の観察と分類のしかたや植物・動物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。
- ・物質のすがたについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質やその変化における規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。

## 【評価方法】

小テスト、レポート、ワークシート、定期考査など

● 主体的に学習に取り組む態度
-----------------

- ・生物の観察と分類のしかたや植物・動物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
- ・物質のすがたに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 【評価方法】

振り返りカード、小テスト、レポート、ワークシート、行動観察、発言・発表、課題提出

## 【評価例】

植物の体のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の分類についてまとめたレポートの記述を基に評価する場合。

- A…「どのような知識及び技能を活用したか」、「誰とどのような対話をしたか」、「何に気付いたか」について記述しており、課題を解決する過程において、試行錯誤しながら、解決しようとしていることがわかる。
- B…「誰とどのような対話をしたか」、「何に気付いたか」について記述しており、課題を解決する過程において試行錯誤しようとしていることが分かる。

## 評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

歌唱【校歌】【その先へ】【主人は冷たい土の中に】◎ガイダンス  
 ◎曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう  
 【浜辺の歌】◎日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう  
 鑑賞【春】◎音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう  
 【ジョーズのテーマ】◎イメージと音楽との関わりを感じ取ろう  
 器楽【聖者の行進】【リコーダー LESSON 1】◎曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう  
 合唱【合唱コンクール課題曲】◎思いをこめて合唱しよう

## ● 知識・技能

- ・正しい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。
- ・他者と合わせて演奏することができる。
- ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。
- ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表すことができる。

【評価方法】定期考査 行動記録 ipadによる記録 ワークシート ワーク

## ● 思考・判断・表現

- ・音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取ることができる。
- ・どのように工夫して歌うかの記述ができる。
- ・音楽の要素を生かして創意工夫し歌ったり、演奏したりすることができる。
- ・音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り言葉で表すことができる。
- ・リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらをどのように生かして歌うかについて言葉で表現することができる。

【評価方法】定期考査 行動記録 ワークシート ワーク iPadによる記録

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
- ・曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価方法】定期考査 行動観察 ワークシート iPadによる学習の成果の変化

## 【評価例】

○教科書・ワーク・楽譜・プリント・ファイル提出

A・・・工夫しようとしている（自分で調べたこと、友達の意見、色を使っている）

B・・・学んだことを書き込もうとしている。

○iPadによる学習の成果の記録

A・・・最初に録音したものと学習を深めた後の録音で変化をわかろうとしている。

B・・・最初に録音したものと学習を深めた後で変化はわからないが言葉で伝えようとしている。

## 1年1学期

## 美術科の評価について

伊藤

## 評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

## ・ 知識・技能

- ・対象物の明暗を捉えて鉛筆で立体的に表現できる。
- ・用具の特性を知って自分の表現に生かすことができる。
- ・アイデアスケッチをもとに適切な技法で表現できる。
- ・作業手順を理解し、表現の工夫などを考え、計画に合わせて的確に作業を進める。
- ・それぞれのテーマについて、制作順序や用具の使い方を正しく理解している。
- ・素描の基礎（形のとらえ方、明暗、陰影、材質感の表し方）を理解している。
- ・鉛筆素描の持つ質感や美しさに気づき、興味、関心を持つ。
- ・対象物の形、比例、バランスを捉えて描くことができる。

## ・ 思考・判断・表現

- ・場面に合わせた書体の効果を理解し、選択することができる。
- ・わかりやすさや面白さを考えた美しい絵文字のアイデアが出せる。
- ・テーマや制作技法を考え、それに沿ったアイデアスケッチができる。
- ・多様な可能性（複数のアイデア）を検討し、最善の表現をしようとしている。
- ・美術作品や表現に関することに関心を持って理解を深めている。
- ・アイデアスケッチをもとに自分の作品について説明できる。
- ・他の人の作品のよさや美しさを感じとろうとしている。

## ・ 主体的に学習に取り組む態度

- ・授業の要点を理解しようとしてつとめ、取り組もうとしている。
- ・表そうとする対象をよく観察し、丁寧に描こうとしている。
- ・説明をよく聞き、用具の使い方を理解して、正しく使用しようとしている。
- ・授業や課題には積極的に取り組み、意欲的に作業をしたり発言しようとしている。
- ・作品の完成度を高めるために創意工夫をし、最後まで根気よく丁寧に制作しようとしている。
- ・美術の準備、後片付けができ、作業時間を有効に利用しようとしている。
- ・忘れ物をしないようにしている。提出物の提出期限を守ろうとしている。

## 今学期の主な評価対象

- ・授業への取り組み方
- ・アイデアスケッチ
- ・作品
- ・期末考査

1年1学期

保健体育科の評価について

教科担当

服部

## 評価の観点

今学期の目標・評価対象・評価方法など

体づくり運動・陸上競技(短距離走、リレー、長距離走、ハードル走)  
球技(ソフトボール、バドミントン、バレーボール)  
保健(健康の成り立ち、運動と健康、食事と健康、休養・睡眠と健康)

## ● 知識・技能

## ○知識

- 陸上競技の各種目において用いられる技術の名称があり、それぞれの技術で動きのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。
- 陸上競技は、自分の記録に挑戦したり、競争したりする楽しさや喜びを味わうことができることについて、言ったり書き出したりしている。
- 球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。
- 学校で行われる球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。
- 健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康について、理解したことを言ったり書いたりしている。

## ○技能

- クラウチングスタートから徐々に上体を起こしていき加速することができる。
- 自己に合ったピッチとストライドで速く走ることができる。
- リレーでは、次走者がスタートするタイミングやバトンを受け渡すタイミングを合わせることができる。
- ペースを一定にして走ることができる。
- 遠くから踏み切り、勢いよくハードルを走り越すことができる。
- 地面と水平になるようにバットを振り抜くことができる。
- 投げる腕を後方に引きながら投げ手と反対側の足を踏み出し、体重を移動させながら、大きな動作でねらった方向にボールを投げることができる。
- ボールを返す方向にラケット面を向けて打つことができる。
- 味方が操作しやすい位置にボールをつなぐことができる。
- 相手側のコートの空いた場所にボールを返すことができる。
- 相手の打球に備えた準備姿勢をとることができる。

## ● 思考・判断・表現

- 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。
- 練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどの良い取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。
- 仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。
- 健康の成り立ちと疾病の発生要因や、生活習慣と健康について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、健康の保持増進をする方法を見いだしている。

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- 体づくり運動、陸上競技、球技、保健の学習に積極的に取り組もうとしている。
- 勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとしている。
- 用具等の準備や後片付け、記録などの分担した役割を果たそうとしている。
- マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。
- 作戦などについての話合いに参加しようとしている。
- 練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。
- 健康・安全に留意しようとしている。

【評価方法】 行動観察 ・ 学習カード ・ 実技テスト ・ 期末考査

【評価例】 マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている様子を観察して評価する場合。

A・・・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを常に守ろうとしている。

B・・・マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。

1年1学期

## 技術科の評価について

末永

## 評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- 材料と加工に関する技術
  - ・製図、木材の性質、木材加工に関する道具の使い方
- 情報に関する技術
  - ・著作権と肖像権について
  - ・情報機器の使い方

## ● 知識・技能

- ・製図が正しく描ける。(キャビネット図、等角図、第三角法による正投影図)
- ・材料の違いについて性質・特性の違いが理解できる。
- ・材料の用途に応じた加工方法が理解できる。
- ・著作権と肖像権について理解できる。

## 【評価方法】

小テスト、定期考査、行動観察、ワークシート、作品

## ● 思考・判断・表現

- ・実習の際に手順などを考えて、より強度の高い作品や精密な作品を作ることができる。
- ・毎回の授業で学んだことをまとめ、表現することができる。

## 【評価方法】

定期考査、行動観察、ワークシート、作品

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・実習の際に、自分の作業ペースを考えながら、毎回適切な目標を立てようとして、それを達成するために、粘り強く作業に取り組もうとしている。
- ・積極的に社会的な課題やSDGsなどについて考え、それを解決するためにはどのようなことができるかなどを考え、探求しようとしている。

## 【評価方法】

行動観察、ワークシート、定期テスト、作品

## 【評価例】

木工作品を設計し、作品づくりをする際の最初の目標設定と最後の振り返りで評価する場合。(ワークシート)

- A・・・自分の作業ペースを考えながら、その日の目標を具体的に立てることができ、振り返りの際に達成・未達成にかかわらずなぜこの結果になったのか記入しようとしている。
- B・・・その日の最初に目標を立てることができ、振り返りの際に、達成できたが未達成だったのか記入しようとしている。

1年1学期

## 家庭科の評価について

井上

## 評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

2編 1章 衣服の選択と手入れ  
2編 2章 生活を豊かにするために

## ● 知識・技能

- ・衣服と社会生活との関わりについて理解している。
- ・目的に応じた着用について理解している。
- ・衣服の適切な選択について理解している
- ・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。
- ・既製の表示を読み取り，適切に選択している
- ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに，適切にできる。

## 【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク・作品・実技試験

## ● 思考・判断・表現

- ・自分らしい着方について考え，工夫している。
- ・衣服の選択について，問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
- ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯，収納，補修，アイロンなど）について，問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

## 【評価方法】

定期考査・行動観察・ワーク・作品

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・目的に応じた着用を踏まえた自分なりの着方について，工夫し創造し，実践しようとしている。
- ・材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方（洗濯，収納，補修，アイロンなど）について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。

## 【評価方法】

行動観察・ワーク・振り返りシート

## 【評価例】

課題に対して自分で立てた計画や考えを振り返り、自分なりの考察を加えて残した記述をもとに評価をする場合。

A...自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどを参考に、向上心を持ち自ら取り組むなど具体的な解決策を考え、実生活に生かそうとすることが伝わる記述や作品作りをすることができる。

B...自分の計画や考えを振り返り、他の生徒のアドバイスなどがあることを理解することができる。

1年1学期

## 英語科の評価について

教科担当

石川・樫原

小野・細野

## 評価の観点

・今学期の目標・評価対象・評価方法など

- Unit 0 : 小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりできる。  
 Unit 1 : 自分がふだんよくすることや、できることを伝えることができる。  
 Unit 2 : 身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。  
 Unit 3 : いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。  
 Unit 4 : 相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりすることができる。

## ● 知識・技能

- ・ 小学校で習った英語表現の意味・用法、アルファベットの名前と音や、大文字・小文字について理解している。
- ・ 小学校で習った英語表現をもとに、声に出して英語を読む技能を身につけている。
- ・ be動詞と一般動詞、助動詞canを用いた文の形・意味・用法を理解している。
- ・ 名前や出身、好きなものやできることについて、伝え合う技能を身につけている。
- ・ This [That, He, She] is .... 疑問詞what, who, howを用いた文の形・意味・用法を理解している。
- ・ 身近な人やもの、普段の行動などについて、伝え合う技能を身につけている。
- ・ 疑問詞where, when, I want to.... How many...?を用いた文の形・意味・用法を理解している。
- ・ 場所、日時や希望について、コミュニケーションを行う技能を身につけている。
- ・ 命令文の形・意味・用法を理解している。
- ・ 相手に対する指示や助言などのコミュニケーションを行う技能を身につけている。

## 【評価方法】

定期考査, 行動観察, ワークシート, 小テスト

## ● 思考・判断・表現

- ・ 初対面の相手に好きなものなどについて、小学校で習った英語表現を用いて伝え合うことができる。
- ・ 名前や出身地、できることについて、即興でたずねたり答えたりしている。
- ・ 場所や日時、持ち物、希望について、即興でたずねたり伝えたりしている。
- ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、指示や助言ができる。

## 【評価方法】

定期考査, 行動観察, ワークシート, 発表活動

## ● 主体的に学習に取り組む態度

- ・ 初対面の相手と知り合うために、積極的に好きなもの、名前や出身地などについて伝え合おうとしている。
- ・ 相手をよく知るために、身近な人やもの、普段の行動などについて、積極的にコミュニケーションを行おうとしている。
- ・ 場所や日時、希望などについて、積極的にコミュニケーションを行おうとしている。
- ・ 毎時間の授業に積極的に参加している。
- ・ 学習の進め方について、自ら工夫し調整しようとしている。
- ・ 課題などの提出物に粘り強く取り組み、理解を深めようとしている

## 【評価方法】

行動観察, ワークシート, 発表活動, Joyful Work Book, 振り返りシート

## 【評価例】

英作文などの問題に取り組む際に、粘り強く問題に取り組む自分なりの答えを記述しているかを ワークブックの記述をもとに評価する場合。

- A・・・必要があれば辞書を活用し自分なりの答えを記述した後、答えを参照し8割以上正しく答え合わせしようとしている。
- B・・・多少解答に頼ることもあるが、自分なりの答えを記述した後、5割以上正しく答え合わせしようとしている。